

モニターレポート(8月報告)

【報告内容①】

松浜側の阿賀野川河口の川辺に流木が残存しているが、あれらはこれからどうなるのだろうと思う。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川河口の流木についてご指摘がありました。阿賀野川河口部だけにかかわらず、阿賀野川沿川には沢山の流木が残っています。新潟・福島豪雨における大出水でも、沢山の木が流れてきました。こういった流木は、河川管理上支障になると判断されれば、阿賀野川河川事務所でも撤去しますが、全てを撤去するには、多額の費用がかかり、困難な状況です。

【報告内容②】

最近、阿賀野川河川事務所のホームページを注意して見えています。「焼山地区ワンド再生懇談会」の新着情報に注目しました。「ワンド」を調べたのですが、適切な説明が見つかりませんでした。ご説明頂けるとありがたいです。焼山地区の阿賀野川の自然がいかに再生されるか楽しみです。

〈事務所からのコメント〉

焼山地区ワンド再生懇談会に関心をお持ち頂き、ありがとうございます。ワンド(湾処)は、川の本流とつながっている池のような地形のことです。魚類などの水生生物に安定した住み処を与えたり、様々な植生が繁殖する場となっています。

阿賀野川河川事務所では、阿賀野川自然再生の取り組みを進めています。河川敷に残る旧河道を利用して、ワンドを再生していく予定です。第1回「焼山地区ワンド再生懇談会(仮称)」の結果については、「第1回ニュース」として事務所のホームページに掲載しました。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

集中豪雨による川のはん濫が各地で発生しています。自然現象だとしても、人間の知恵を駆使することによって、少しずつ防災に近づけなければならないと思います。ダムや堤防の見直しなどを積極的にするべきだと思います。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川河川事務所では、平成23年7月の新潟・福島豪雨において、計画高水位を超えた箇所について、水位を下げるため、川底の地面を掘ったり樹木を伐採する工事を行っています。

また、堤防の高さや幅が不足する箇所についても、嵩上げなどにより堤防を強化する工事を行っています。

【報告内容④】

8月の点検箇所は、阿賀野川頭首工左岸取水口～安田橋右岸を点検いたしました。何枚かの看板の字が薄らいでいたり、雑草の繁茂のため、見えづらかったりしていました。特に「旧安田橋跡」の看板の周囲で多くの雑草の繁茂が見受けられました。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川河川事務所が設置した「旧安田橋跡」の看板については、その周辺の除草を行う予定です。

ご指摘いただいたその他の看板は、各所有者に状態を連絡し、対応してもらいます。

※複数のモニター報告を要約してあります。